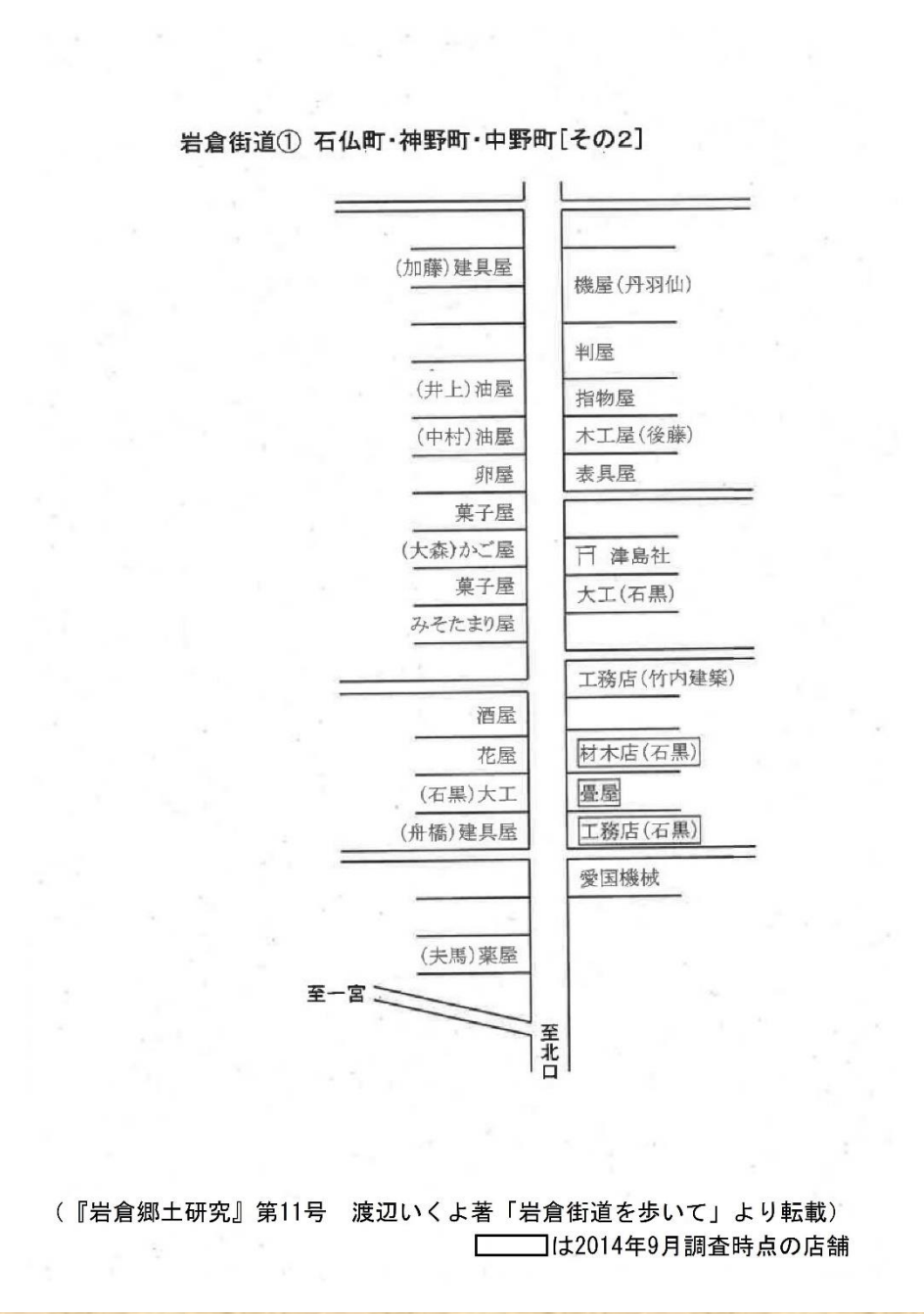
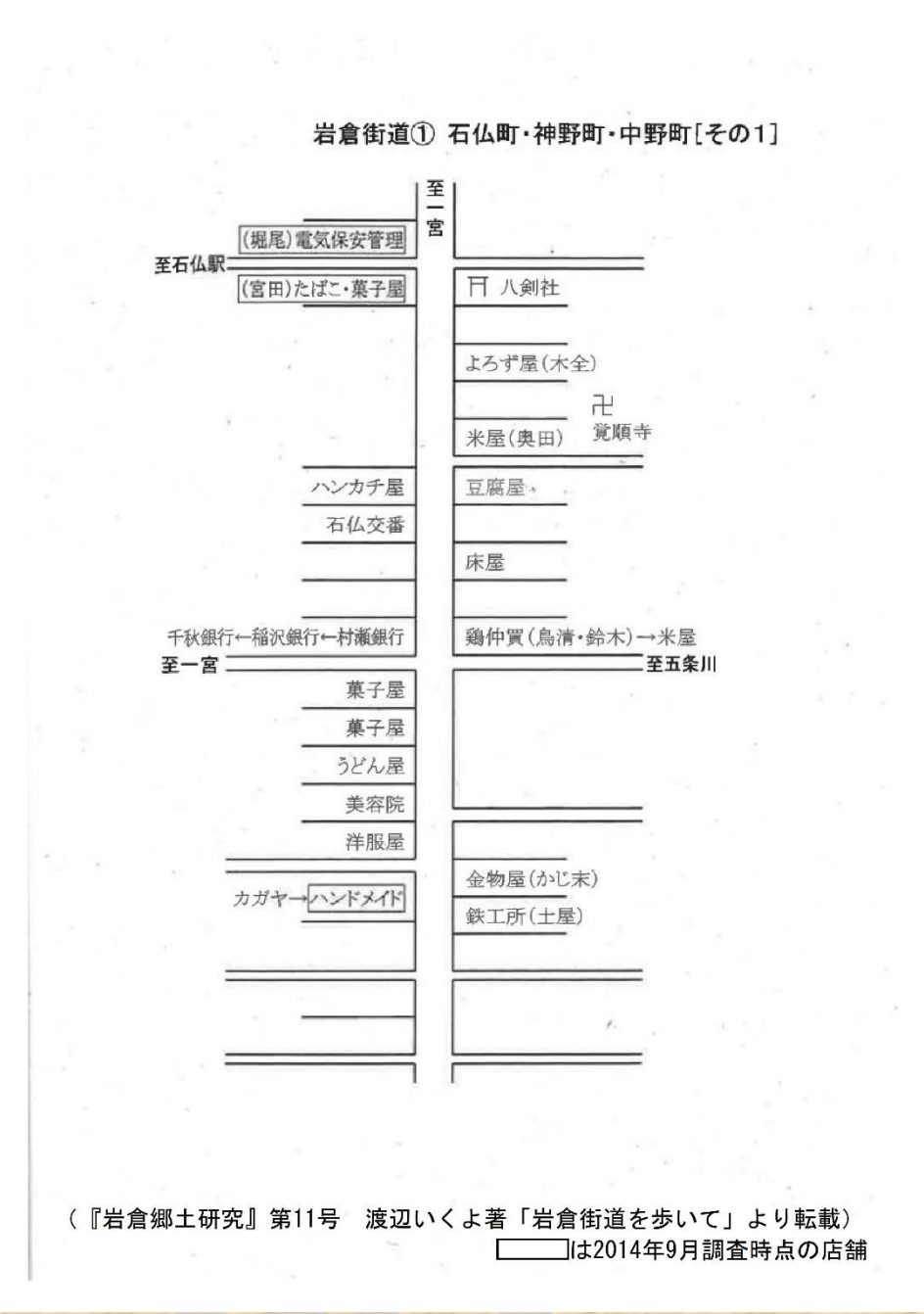


「かつての町並みとその賑わい」

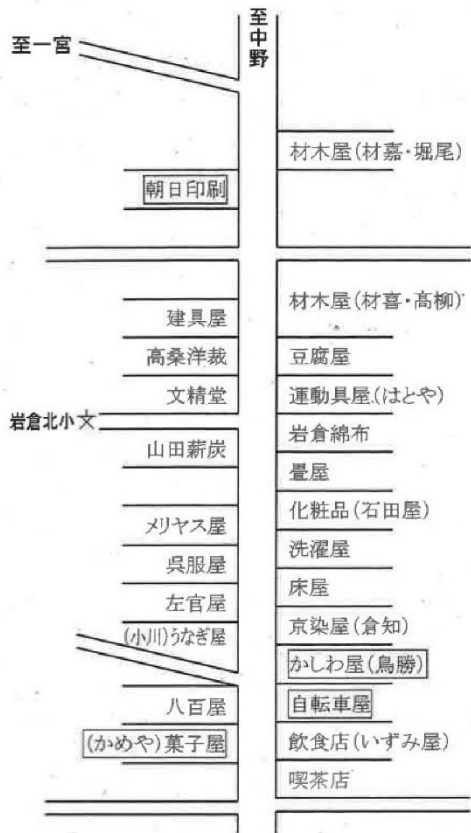
今回の企画展は、「かつての町並みとその賑わい」と銘打って、岩倉街道沿いの商店をとりあげました。名古屋と犬山を結ぶ岩倉街道は、江戸時代に整備されて以来、町家が軒を連ねていました。様々な業種の商店が立ち並び、周辺も含めた市民の生活を支えていました。今回展示した商品や道具は、市内の商店で取り扱われていたものです。

展示しているものの中には、今では見かけなくなったものの多く存在します。年配の方々には懐かしく、若いの方々には目新しいこれらの品々は、時代とともに移り変わる日常生活の道具である民具の特徴を示しています。

1 岩倉街道の町並み

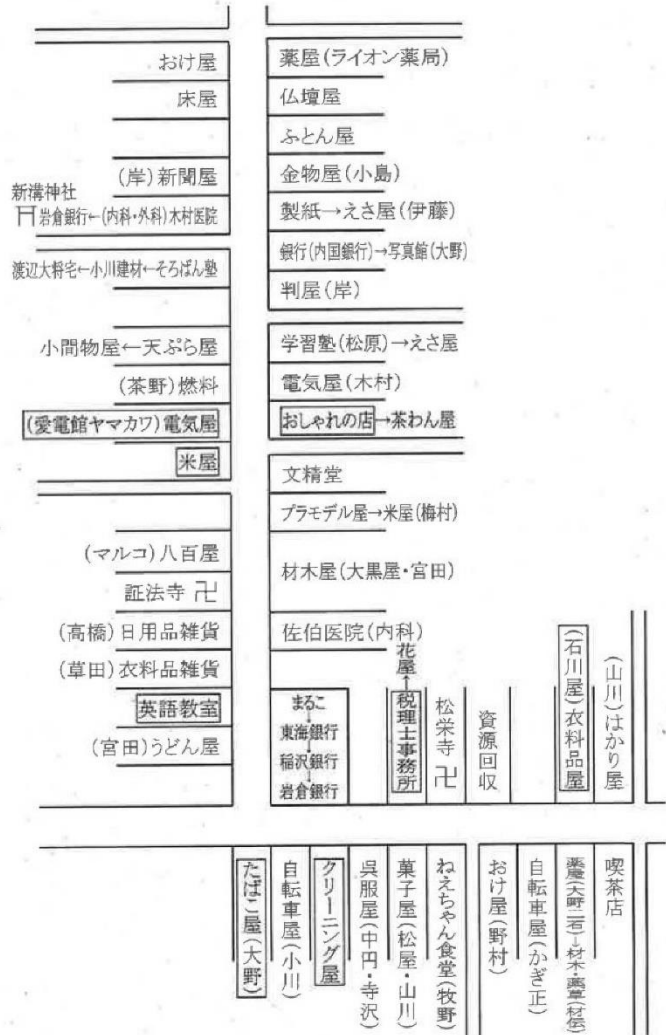


岩倉街道② 本町(北口・上市場)[その1]



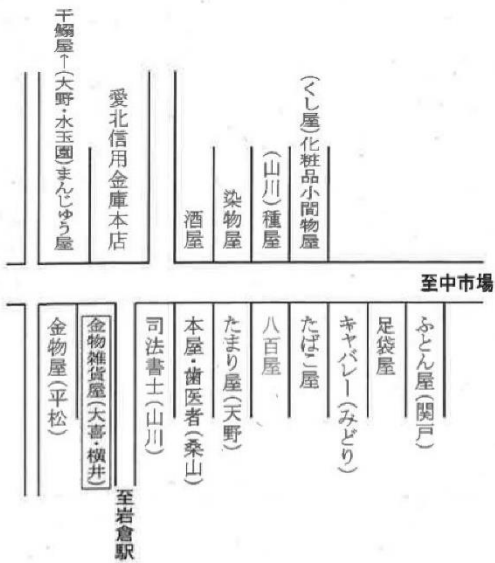
(『岩倉郷土研究』第11号 渡辺いくよ著「岩倉街道を歩いて」より転載)
□は2014年9月調査時点の店舗

岩倉街道② 本町(北口・上市場)[その2]



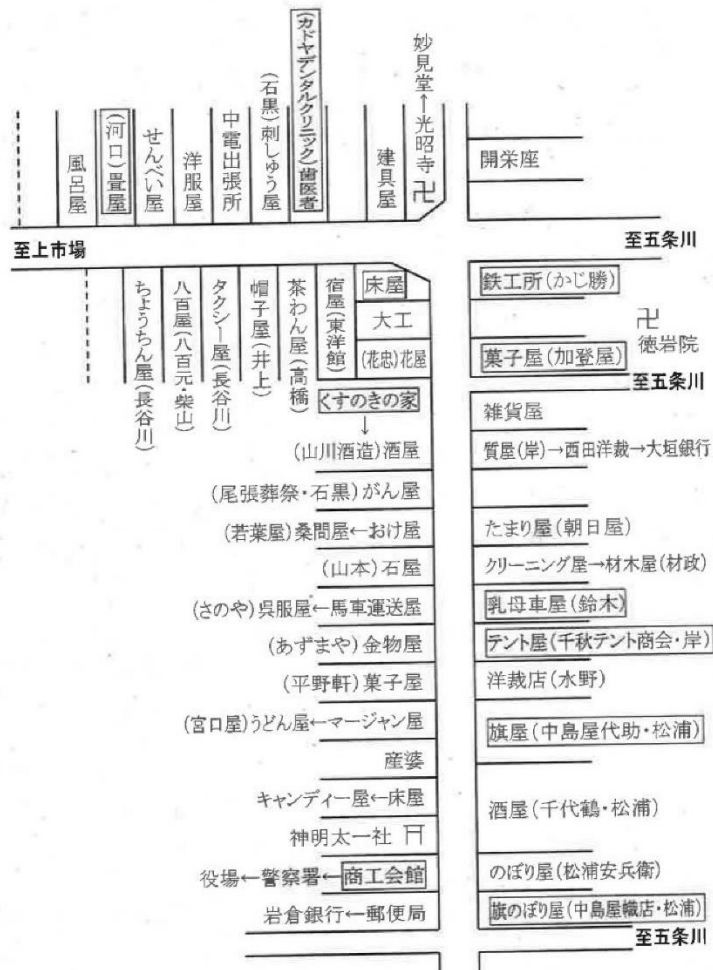
(『岩倉郷土研究』第11号 渡辺いくよ著「岩倉街道を歩いて」より転載)
□は2014年9月調査時点の店舗

岩倉街道② 本町(北口・上市場)[その3]



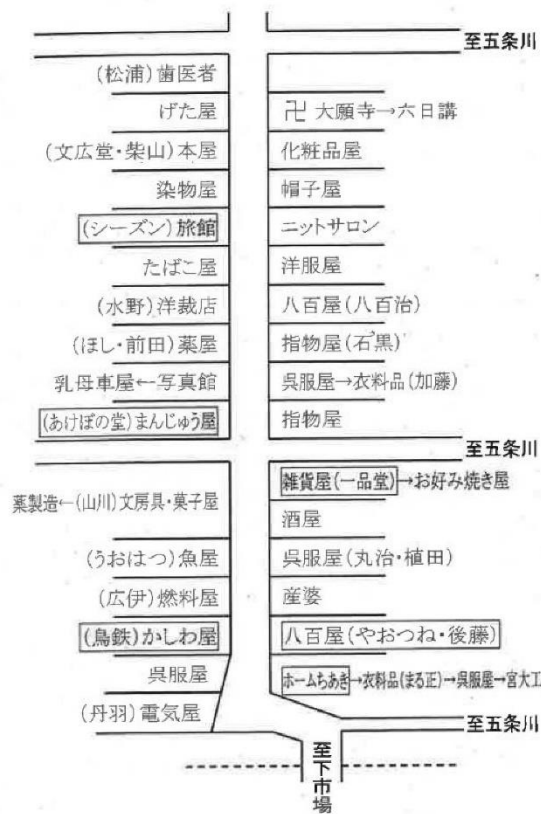
(『岩倉郷土研究』第11号 渡辺いくよ著「岩倉街道を歩いて」より転載)
□は2014年9月調査時点の店舗

岩倉街道③ 中本町(中市場)[その1]



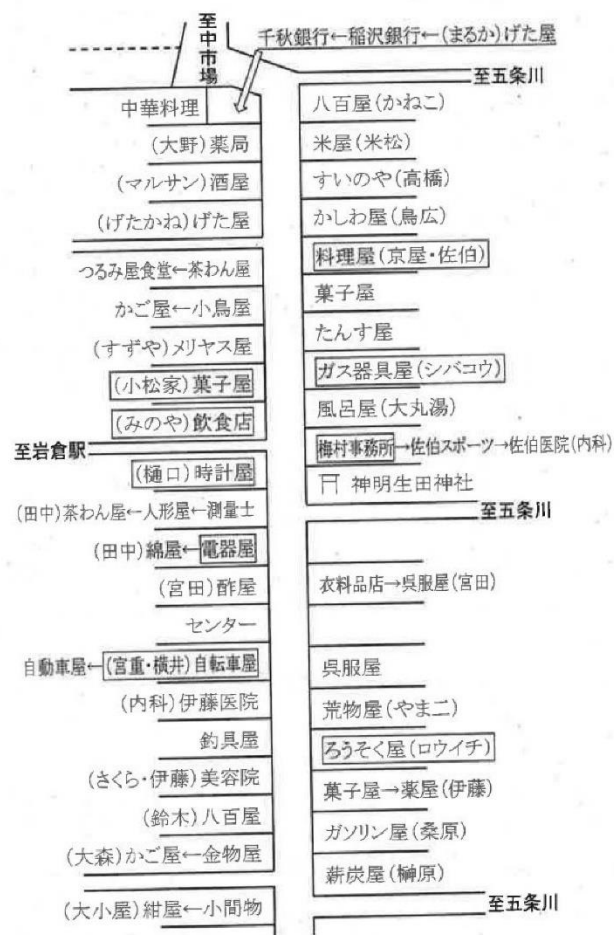
(『岩倉郷土研究』第11号 渡辺いくよ著「岩倉街道を歩いて」より転載)
□は2014年9月調査時点の店舗

岩倉街道③ 中本町(中市場)[その2]



(『岩倉郷土研究』第11号 渡辺いくよ著「岩倉街道を歩いて」より転載)
□は2014年9月調査時点の店舗

岩倉街道④ 下本町(下市場)[その1]



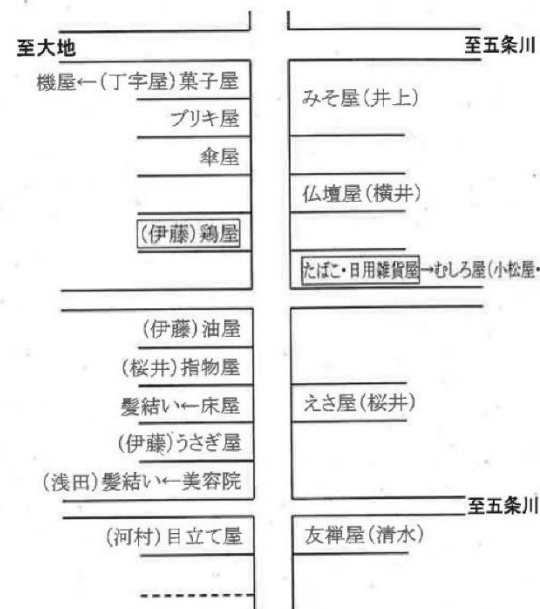
(『岩倉郷土研究』第11号 渡辺いくよ著「岩倉街道を歩いて」より転載)
□は2014年9月調査時点の店舗

岩倉街道④ 下本町(下市場)[その2]



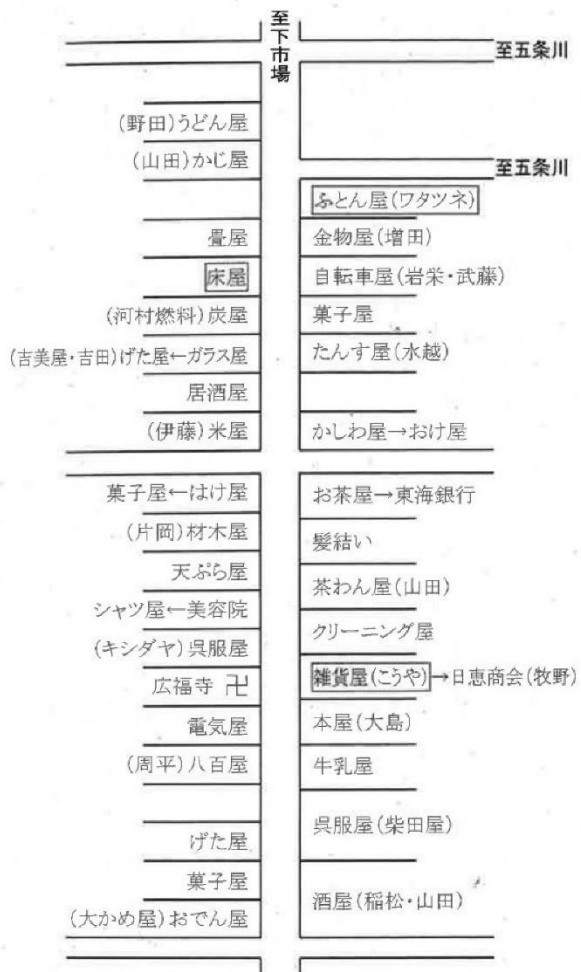
(『岩倉郷土研究』第11号 渡辺いくよ著「岩倉街道を歩いて」より転載)
□は2014年9月調査時点の店舗

岩倉街道④ 下本町(下市場)[その3]



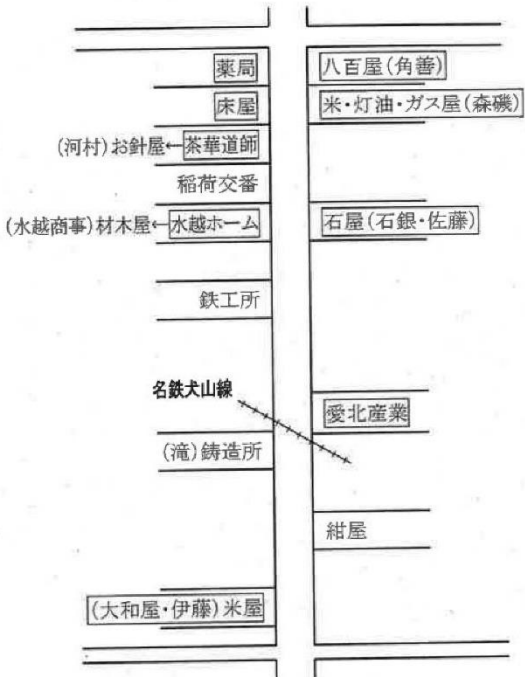
(『岩倉郷土研究』第11号 渡辺いくよ著「岩倉街道を歩いて」より転載)
□は2014年9月調査時点の店舗

岩倉街道⑤ 稲荷町・曾野町・大山寺町[その1]



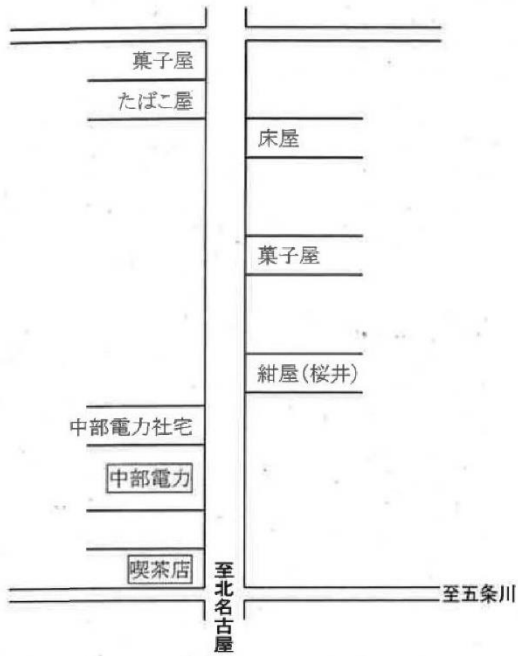
(『岩倉郷土研究』第11号 渡辺いくよ著「岩倉街道を歩いて」より転載)
□は2014年9月調査時点の店舗

岩倉街道⑤ 稲荷町・曾野町・大山寺町[その2]



(『岩倉郷土研究』第11号 渡辺いくよ著「岩倉街道を歩いて」より転載)
□は2014年9月調査時点の店舗

岩倉街道⑤ 稲荷町・曾野町・大山寺町[その3]



(『岩倉郷土研究』第11号 渡辺いくよ著「岩倉街道を歩いて」より転載)
□は2014年9月調査時点の店舗

2 町並みに所在した店舗で使われた道具・商品

○タバコ屋



手あぶり

○桶屋



はんそう



カンナ

○薬屋



薬調合器具



薬

○はかり屋



まゆばかり



天秤秤

○提灯屋



提灯



提灯用型

○茶碗屋



手あぶり

○酒屋



高田徳利



酒樽

○乳母車屋



○のんびり屋



こいのぼり

○指物屋



墨壺



さしがね



大福帳

○下駄屋



下駄



雪駄

○和菓子屋



焼き印見本



焼き印



菓子型



菓子見本

○風呂屋



桶

○時計屋



時計

○人形屋



眠り人形

○釣り具屋



魚籠



うげ

○ブリキ屋



○むしろ屋



イズメ

企画・構成：岩倉民具研究会